



2023年3月よりスタート



ピコレーザーは光治療などで難しい薄い色のシミやそばかす、
タトゥー除去、肌のエイジングケアなど様々な効果が期待できます。

こんなお悩みをお持ちの方へ

- ★シミやそばかすの改善
- ★肝斑やくすみ、色素沈着の改善
- ★ニキビ跡や毛穴の開き、小じわの改善
- ★刺青やタトゥーの除去(準備中)

ハイドラシャワーとエレクトロポレーションと併用されるとより効果的です。

気になる方は、まずはカウンセリングをご予約お願いいたします

PicoWay®

PicoWay(ピコウェイ)は、アメリカの Syneron-Candera 社製(シネロン・キャンデラ)の医療用皮膚レーザーです。

PicoWay は 3 種類の波長(532nm/730nm/1,064nm)を組み合わせることで、**シミ、そばかす、肝斑、小ジワ、タトゥー**、など幅広い肌悩みの治療が可能です。

従来の Q スイッチレーザーは、照射時間がナノ秒(10 億分の 1 秒)に対して、PicoWay はピコ秒(1 兆分の 1 秒)単位で発振することができます。

照射時間が短いことで、熱発生が軽減され、皮膚へのダメージが抑えられます。

厚生労働省の薬事承認や、米国食品医薬品局(FDA)の承認を受けているレーザー機器です。



こんなお悩みに適しています

- シミやそばかす、肝斑が気になる
- 肌のくすみが気になる
- 美肌になりたい
- 毛穴の開きや黒ずみが気になる
- ニキビ跡などの赤みが気になる
- 目尻などの小じわが気になる
- 短時間で効果的な治療を行いたい
- 刺青、タトゥーを除去したい など

ピコレーザー:PicoWay の特徴

ピコレーザーは、一般的な Q スイッチレーザーの照射時間「ナノ秒(10 億分の 1 秒)」よりはるかに速い、「ピコ秒(1 兆分の 1 秒)」単位で照射できるレーザーです。

従来の Q スイッチレーザーや光による治療は、光熱作用によってメラニン色素を破壊するため、強く照射すると熱傷や炎症後の色素沈着リスクがありました。熱の広がり方やパワーは、パルス幅(照射時間)によって異なります。パルス幅が短くなると周りの組織に熱が広がりにくく、ピークパワーが上がります。

ピコウェイは、従来の Q スイッチレーザー(ナノ秒)よりも短いパルス幅(ピコ秒)により、高いエネルギーが実現できました。ターゲットとなる色素粒子をより微細に破壊することが出来ることで、少ない治療回数でより早く除去することが可能になりました。また、熱による肌への負担を最小限に抑えながら、衝撃波でメラニンを粉碎することができ、皮膚の奥深くまでしっかりとレーザーを届けることが可能です。

当院が導入しているピコレーザー『PicoWay』は、照射時間がピコレーザーの中でも最も短いため、より安全に、より早く、効果的にメラニンを破壊することができます。

《メカニズム》

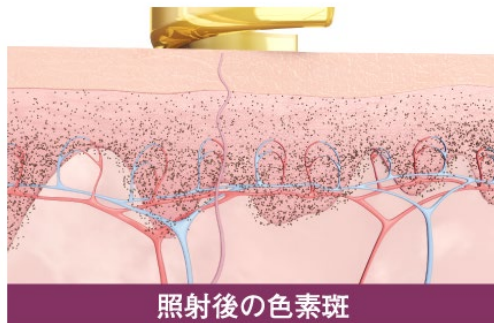
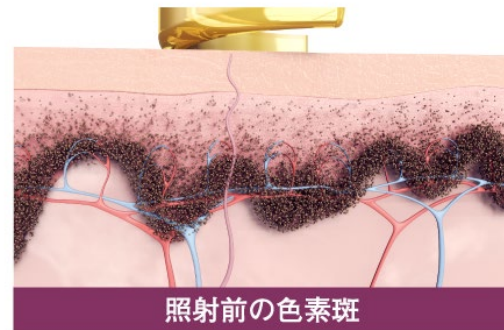
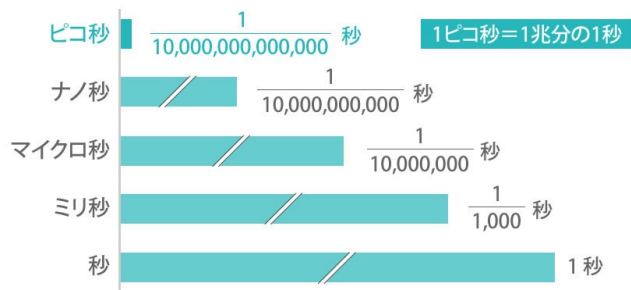
レーザー治療はパルス幅(照射時間)が長くなればなるほど光熱作用が強くなり、炎症後色素沈着のリスクが高まります。

PicoWay はピコ秒 という短いパルス発振により得られる高いピークパワーを有し、周りの組織へのダメージを最小限に抑え、ターゲットとなる色素粒子を微細に破壊することが可能です。

PicoWay は高熱作用が少なく、高いエネルギー(ピークパワー)と衝撃波(光音響効果)の 2 つの作用を持ち、標的となるメラニンなどの色素を破壊して微粒子にさせます。

破壊された色素粒子は体内のマクロファージにより体の外へ排出されます。細かく破碎された色素粒子である方が、効率良く代謝されます。そのため、従来では除去しきれなかったシミにも高い効果があり、少ない回数で治療が可能です。

熱によるダメージが少ないので、痛みや照射後のかさぶた、炎症後色素沈着などの副反応を最小限に抑えながら、効率的に色素治療を行うことができます。テープによる保護は不要で、照射後のかさぶたは薄く3～6 日で剥がれ落ちます。また、光治療(IPL)や従来レーザー照射後半年続く色素沈着が生じにくくなっています。



当院のピコレーザー治療

ピコレーザーによる治療は、以下の 3 種類のモードがあります。

ピコショット・・・しみ(日光性色素斑)、ソバカス・・・

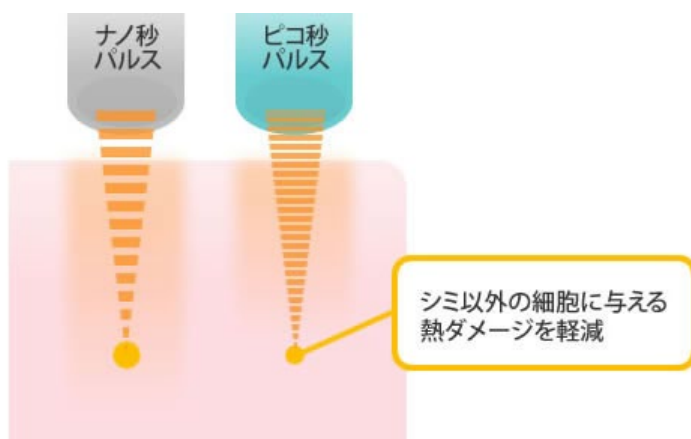
シミなどの気になる部分に、ピンポイントで高出力のレーザーを照射し、衝撃波によってシミを除去する治療法です。

特にいわゆるシミといわれる老人性色素斑とそばかすに効果的とされています。

ほとんどの場合、治療は 1～3 回で完了しますが、**肝斑のシミに照射はできません。**

短時間でシミやそばかすなどを取り除くため、肌へのダメージは少ないとされています。

個人差はありますが、輪ゴムで弾かれたような痛み以外のダウンタイムはほとんどなく、治療後に炎症後色素沈着を起こす可能性も少ないと考えられています。



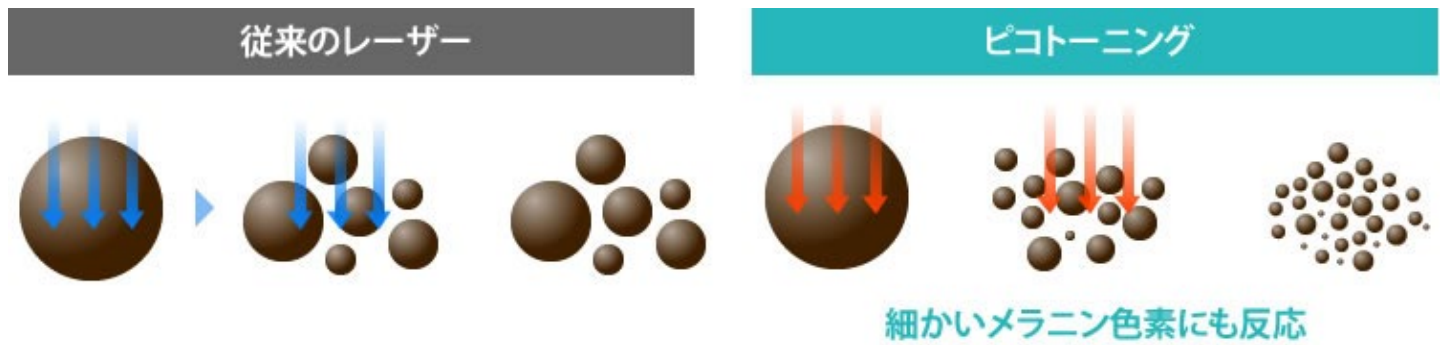
ピコトーニング・・・しみ・そばかす・くすみ・肝斑・色素沈着など・・・

ピコ秒で照射される低出力のレーザーを肌に当てることで薄い色のシミなど色素を除去(破壊)するのに適した治療法です。

メラニン色素を少しずつ分解・排出していくため、肝斑治療におすすめです。レーザー治療は、照射時間が短ければ短いほど、肌や組織のダメージが少なくなり、シミや肝斑を薄くしていく他、くすみや色ムラを取り除いて肌全体のトーンアップも図れます。従来の Q スイッチレーザーによるトーニングでは効果を感じられなかった方にもおすすめです。

深達性にすぐれた波長 1064nm YAG レーザーは、アトピー性皮膚炎に見られるような色素沈着やダーティーネック、お尻の黒ずみのような肌の深部に滞留しているメラニン色素に対しても優れた効果を発揮します。

また、ヘモグロビン(赤)に吸収される特性も持つので、真皮内の過剰な毛細血管を収縮・破壊して、赤ら顔やニキビ跡の赤みも改善します。熱でメラニンを粉砕するのではなく、衝撃波で色素を除去するレーザー技術です。



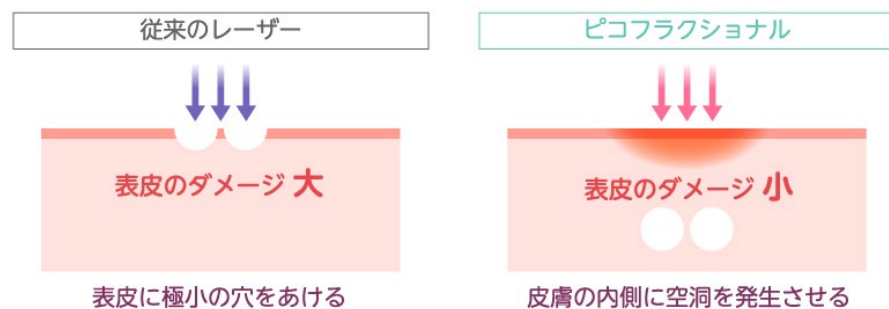
ピコフラクショナルレーザー・・・毛穴の開き・ニキビ跡・小じわ・肌のハリ・キメの改善・・・

ピコフラクショナルレーザーは、ニキビ跡のクレーターや毛穴などの改善、美肌を実現するための治療法です。

代表的なのは『フラクショナル CO2 レーザー』ですが、効果が高い反面、微細な穴をあけ意図的に傷を作るため、照射中の痛みやダウンタイムが目立つ（強い赤みと小さなかさぶた）という欠点がありました。

ピコレーザーは点状に照射することで衝撃波により皮膚表面を傷つけずに真皮に微小の空胞を作り、刺激を与えることでコラーゲン増生が活性化され、お肌の再生を促していきます。そのため従来よりも痛みやダウンタイムが少なく肌質改善、若返りができるのが特徴です。

小ジワや毛穴の改善などお肌のハリを取り戻し、キメを改善し、ニキビ跡の凸凹にも効果が期待できます。



施術の頻度と施術回数の目安

治療方法	施術頻度の目安	施術回数の目安
ピコショット	6 か月に 1 回	2－3 回
ピコトーニング	1 か月に 1 回	4－8 回
ピコフラクショナル	1 か月に 1 回	3－4 回

小さいシミは 1 回で治療が終わる場合もあります。通常は複数回の施術が必要です。

ピコレーザーの痛み

●ピコスポット：痛み-軽度

輪ゴムでパチッと弾かれる感覚で痛みはわずかです。

痛みに弱い方、ショット数の多い方でご希望ありましたら外用麻酔を併用いたします。

●ピコトーニング：痛み-軽度

パチパチと弾かれるような刺激で痛みは軽度、人によってはほとんどありません。

●ピコフラクショナル：痛み-軽度～中等度

チクチクするような痛みがあります。

麻酔なしでご辛抱いただける程度ですが、痛みに敏感な方は麻酔クリームを併用いたします。

＊ただし麻酔のアレルギーがある方は、必ずお申し出ください。

リスクとダウンタイム

主に以下のようなものが考えられます。治療の経過や効果には、個人差があります。

●リスク・副作用

ピコスポット……………かさぶたが取れるまでの 1 週間程目立ちますがコンシーラーやテープで保護が可能です。

炎症後色素沈着が起こることがあります。

ピコトーニング……………発赤、色素脱失、痒み、発疹が起こるリスクがあります。

ピコフラクショナル…発赤、腫れ、点状出血のリスクがあります。患部への刺激を避ければ、メイクや洗顔は当日から可能です。

治療後の経過

●スポット

気になる部位にピコレーザーを照射した直後は、患部が白くなります。(大きいものや摩擦の多い部位にはスキントーンテープを 2 週間程度貼ります。)施術数 1～2 週間で患部が黒くなり、薄いかさぶたが生じます(かさぶたができないこともあります)。時間の経過とともに新しい皮膚が形成され、かさぶたが剥がれるとピンク色の肌になります。

レーザー照射後のホームケアも非常に重要です。

照射後 1ヶ月くらいで、いったんピンク色になった部位が茶色みをおびて、まるでシミが再発した様な色調になり心配されるかもしれません。「炎症後色素沈着」といって、傷が治る際にメラニンを活性化させてしまうためにおこる現象です。3 ～ 6 カ月過ぎれば色素はだいぶ 落ち着きますので心配はいりません。(従来の Q スイッチレーザー照射後よりは少ないです)。シミを繰り返さないように紫外線対策をしましょう。

●ピコトーニング

治療直後は照射部位が少し赤くなったり、火照ったりすることがありますが通常は数時間で収まります。シミやそばかすなどは治療後に少し黒く浮き上がる(マイクロクラスト)ように見えることもあります。

1週間程度で剥がれ落ちて同部位の色素病変は薄くなっていきます。無理やり剥がしたりしないようにして下さい。マイクロクラストが出来ていなくても、表皮内でメラニンは破壊されてマクロファージなどに貪食されて代謝されていきますので徐々に色調は薄くなってきます。

●ピコフラクショナル

治療直後は火照りがあります。当日のメイクはご遠慮いただいています。赤みも1～2日は続くこともあります。ブツブツを伴うこともあります。1週間くらいで肌の弾力やハリが実感できます。

- ・治療直後から外出可能ですが、保湿や紫外線対策をしっかり行いましょう。
- ・痛みやかゆみ、出血、炎症後色素沈着や色素脱失が生じることがあります。
- ・シミの状態によっては、1回の治療で除去できない可能性があります。
- ・施術後に生じたかさぶたは、無理に剥がさないようにしてください。
- ・炎症後色素沈着が起きることがありますが、約3～6ヵ月で目立たなくなります。

施術の流れ:

① カウンセリング・ドクター診察

初診時には問診票をご記入して頂いてから、施術前に、担当医師がお肌の状態や肌質を診察し、治療に必要な回数の目安や併用療法などの治療プランを決めていきます。

スキンケア方法のアドバイスや、治療内容・施術後の注意・治療費・治療スケジュールなど注意点やアフターケアについても詳しく説明いたしますので、ご不明な点や不安なことがあれば遠慮せずにご質問ください。

照射部位が顔である場合はメイクを取って来院して頂きます。

② 同意書記入

同意書にサインいただきます。

(20歳未満の未成年の方の施術は、大変申し訳ありませんが当院では行っておりません)

③ ピコレーザーの照射

必要があれば麻酔を塗布して30分～45分効かせてからの照射になります。ゴーグルで目を保護してから治療を行います。治療部位の範囲、照射方法にもよりますが治療時間は数分程度です。

④ 治療後は冷却します。

⑤ 終了

ピコスポット照射、ピコフラクショナル照射直後は照射部位がほんのり赤くなって少しヒリヒリした感じがあります。ピコショットの小さい範囲の場合やトーニングの場合は、すぐにメイクをしてお帰りいただくことも出来ます。ただしピコショットで範囲が大きい場合は治療後テープ保護します。場合によっては軟膏塗布を行うこともあります。保護部位以外はメイク可能です。

★下記に該当される方は、ピコレーザー(ピコウェイ)治療を受けられないのでご了承ください。

- ・光線過敏症の方
- ・光感受性を高める薬を内服／外用している方(薬の添付文書の副作用に「光線過敏症」と記載あり)
- ・激しい日焼け直後の方
- ・真正ケロイドの方
- ・てんかん発作の既往がある方
- ・ご希望部位に無治療の皮膚炎や感染がある方
- ・重症の糖尿病・膠原病の方
- ・治療部位に金の糸を入れている方
- ・金製剤を内服中もしくは過去に金製剤を内服歴のある方

また、安全のため、他院での美容医療の治療歴を担当者にお伝えください。

＊20 歳未満の未成年の方の施術は、大変申し訳ありませんが当院では行っておりません

料金

当院での施術料金は、以下の通りです。

【ピコスポット】(しみ取り)

照射範囲(しみの大きさ)

直径 2mm まで	1 コ	5,000 円
直径 5mm まで	1 コ	10,000 円
直径 10mm まで	1 コ	15,000 円
直径 15mm まで	1 コ	25,000 円
直径 20mm まで	1 コ	30,000 円
それ以上 +1mm ごと	1 コ	+1, 500 円

【ピコトーニング】レーザートーニング治療

全顔 1 回 15,000 円

【ピコフラクショナル】

全顔 1 回 25,000 円

【ピコトーニング+フラクショナル】

全顔 1 回 35,000 円

・ピコレーザーで炎症後色素沈着は起きるの？

ピコレーザーで炎症後色素沈着が起きる可能性は Q スイッチレーザーより低いと考えられます。

Q スイッチレーザーはナノ秒(10 億分の 1 秒)という短時間でレーザーを照射でき、メラニン色素を吸収した熱作用によってシミを除去する治療法で、炎症後色素沈着を生じる可能性があります。

一方、ピコレーザーはピコ秒(1 兆分の 1 秒)というさらに短い時間でレーザー照射が可能です。

衝撃波によって効率的にメラニン色素を破壊することで周囲への熱影響が少ないため、より肌へのダメージが軽減され、炎症後色素沈着などのリスクが少ないです。

《ピコレーザーで炎症後色素沈着が起きる原因》

ピコレーザー照射後は炎症後色素沈着を生じるリスクは低いと考えられますが、症状が現れることもあります。

炎症後色素沈着が起きる原因として、主に以下のようなことが考えられます。

①かさぶたを無理に剥がす

ピコレーザー照射後はかさぶたができることがあります。時間とともに自然と剥がれ、新しいピンク色の皮膚が現れます。

しかし、かさぶたを無理に剥がした場合は皮膚がダメージを受け、炎症後色素沈着を起こす可能性があります。

②患部に刺激を与える

レーザー照射後のテープを頻回に交換したり、かさぶたが剥がれた後の新しいピンク色の肌を触ったり擦ったりして刺激を与えると炎症後色素沈着を生じる可能性があります。

③日焼けしやすい

人の体には、紫外線を浴びるとメラニン色素を生成して肌を守るはたらきが備わっています。

生まれもったメラニン色素が多く、メラニンを生成する能力が高い場合は肌の色が黒くなる傾向にあります。

メラニン色素は紫外線を吸収しやすいため、日焼けしやすく、他の人よりも炎症後色素沈着を生じやすいと考えられます。

④ターンオーバーが低下している

通常、肌は 1 ヶ月ほどのサイクルで新しい肌に生まれ変わりますが、加齢とともにターンオーバーの周期が長くなります。またピコレーザーにより破壊されたメラニン色素はターンオーバーによって排出されるため、加齢やなんらかの影響によりターンオーバーが低下している場合、皮膚内にメラニン色素が蓄積し、炎症後色素沈着を起こす可能性があります。

《ピコレーザー後に炎症後色素沈着を予防する方法》

ピコレーザー照射後に炎症後色素沈着を防ぐための方法として、主に以下のようなことが考えられます。

①患部に刺激を与えない

ピコレーザー照射後にできたかさぶたは、無理に剥がさず自然と剥がれ落ちるのを待ちましょう。

また患部を触る・擦るなど過度に刺激を与えると肌へのダメージにつながるため、スキンケアの際もできるだけ優しく患部を触るようにしましょう。

②紫外線対策を十分に行う

ピコレーザー照射後の皮膚は非常に敏感になっているため、術後は日焼け止めを塗る、帽子や日傘を活用するなど紫外線対策を十分に行いましょう。

③ターンオーバーを整える

ターンオーバーの低下は生活習慣の乱れやストレスなど、さまざまなことが関係しています。

肌によいとされるビタミン B2 や B6 を中心に栄養バランスのよい食事を心がける、適度な運動をする、ストレス解消に努めるなど、セルフケアを行うことが大切です。

④内服外用の併用を行う

ピコレーザーだけでなく、ビタミン C やビタミン E、トラネキサム酸の飲み薬や、ハイドロキノン、トレチノインなどの塗り薬の併用をおすすめしています。

メラニンの排出を促したり、ターンオーバーを整えたり、シミや炎症後色素沈着を出にくくするほか、シミの下に潜んでいる肝斑を薄くする効果も期待できます。

《ピコレーザー後の炎症後色素沈着を予防する内服薬・外用薬》

ピコレーザーはレーザーの特性上、従来の Q スイッチレーザーと比較して炎症後色素沈着を起こしにくいとされていますが、メラニンの排出を促したり、ターンオーバーを整えたり、シミや炎症後色素沈着を出にくくするほか、シミの下に潜んでいる肝斑を薄くする効果も期待できます。

できれば、ピコレーザー治療前から内服薬を開始されると、色素沈着の予防効果が増しますのでお勧めします。